

Technical Note テクニカルノート No.TN-66 '11-07-02

Title: OmniCal D-ARC用耐圧容器 セッティング治具



Fig-01

OmniCal社のD-ARCは耐圧10MPaの耐圧容器があります。これにはOmniCal社のアクセサリとしてオートレンチという“シールパッキング締め付治具”があります。

しかしこのアクセサリはシール・パッキングをどこまで締め付けるかは、操作する人の経験による手加減で行います。

やはり誰が操作しても同じ締め付けトルクとするにはトルクレンチを使うべきです。

Fig-02



改善



Fig-03

耐圧容器の固定台座(Fig-01)により、耐圧容器を固定します。固定台座底に回転防止のためのロック機構(Fig-02)があります。

蓋部の六角ナット保持部(Fig-03)により、確実に蓋部を挟込み、Fig-04のように保持部をスパナタイプのレンチで蓋(シールパッキン)を締め付ける。

改善:

トルクレンチ(スパナタイプ)を使うことにより、誰が操作をしても予め設定された適正トルクで締め付けることができます。



Fig-04



Fig-05

蓋のシールがSwagelokの“ダブルフェール”を使っている場合は、手締めから5/4回転、1/4回転のように表現される適正締め付けトルクを規定できます。(高耐圧安全熱量計の耐圧容器はトルクレンチは不要です。)一方、平板状のシールパッキングではこのような表現ができないので、トルクレンチを使うべきです。